

地区中体連総体おわる



伊江中戦でシュートを放つU選手

第46回国頭地区中学校夏季総合体育大会が本部町や今帰仁村、国頭村、宜野座村、名護市などで開催され、熱戦が展開されました。地区中体連総大と地区陸上競技大会は選手だけではなく、応援団も参加し、授業の一環として二日間行われる地区中体連最大の行事です。羽地中の成績は、空手女子形優勝サッカー準優勝、ソフトテニス女子個人準優勝、ソフトテニス団体男子3位、空手男子形・組手3位でした。また、県大会に出場できるチームは、上記のチーム以外に、男子バスケットボールも入りました。梅雨入りした沖縄で大会運営が心配されましたが、大会中は天候に恵まれ、蒸し暑い大会となりました。応援団の皆さんも二日間にあたる暑い中での応援、ありがとうございます。引率の先生や保護者の皆様、お疲れ様でした。大会が安全に進行でき、大きな怪我・事故もなく終われたのも、皆様のおかげです。感謝いたします。

夢を見させてくれた

成長・貢献・感謝

羽地中学校
学校だより 38号
R1. 6. 4



良くゴールを守ったキャプテンGKH選手

羽地中サッカー部は、1986年（昭和61年）地区大会優勝に引き続き、1987年、1988年と三連覇を成し遂げ、1988年の県中大会（奥武山球場）で山内中に210で勝ち、県大会初優勝を成し遂げました。そして、沖縄県代表として九州大会に出場、現監督である喜瀬慎吾先生が当時の選手として、九州大会を体験されています。以来、サッカー部は準優勝をするも、優勝は逃して現在に至っています。今大会は、こししばらく続いている1回戦負けを止め、県大会に出場するを目標として、春季大会での第三シードのチャンスを活かして初戦での東江中さんを破り、二回戦伊江中さんに勝利し、大宮中さんとの決勝戦では、



3位で県大会出場する男子バスケ部



豪快なロングシュートを決めたMFK選手とMFS選手

210で前半を折り返し、31年振りの優勝旗に胸が躍りました。しかし、逆風で体力も落ち、後半に粘りを見せた相手に3点を決められ、追加点が取れず逆転負けを喫してしまいました。優勝は次回に預けることになったが、今大会は、選手が一丸となって一生懸命にボールを追う姿に感動しました。県大会までに更に練習を頑張り、地区代表校として成果を上げてほしいと願います。

